

学外の人に羨ましいと思われるようなカフェテリアの提案

C1240316

まず初めに学外の人を他の大学の生徒と定義することにします。都会の大学と比較してしまうと敵わないためターゲットをさらに山形県内の大学生に絞ることにします。私が考える現状の公益大学のカフェテリアで欲しいと思う施設として本格的なカフェの設置と勉強に適した環境で勉強を自由に行うことが出来るスペースの確保です。まず本格的なカフェというのはスターバックスのような飲み物やスイーツを提供してくれる店です。現状大学の近くには飲食店がそもそも少ない立地にあるためスターバックスのような本格的なカフェ施設が1つあるだけでも学生を初めとして憩いの場となると思います。

次に勉強に適した環境づくりについてです。現状では1階はほぼ全てのスペースが学食を食べる場となっており2階はスペースの広さ的に現実的ではありません。しかしカフェテリアであるという性質状、人の出入りや雑音を完全に遮断することは不可能であるため多少の雑音が欲しい人向けにすることとします。まず1階のスペースを約3分の1程度に仕切りで区切りをつけ個別スペースをつくります。すると食べる場所が大きく減ってしまうため個別スペースでも食べていいこととします。ただし、勉強している人がいることを考慮してしゃべらず一人で食べることを原則とすることで食べる場所減少問題は解決です。たま

に 1 人で食べていて大きくスペースを空けてまた 1 人が座っているという状況を目にしたことがあります。あまり他人の近くに座りたくない気持ちも分かりますがスペースが非常に無駄になってしまっています。そんな時に個別スペースがあれば 1 人でも食べやすくスペースが無駄になりません。

さらに都会の大学の学食をリサーチしたところメニューの豊富さが印象に残りました。公益大学では日替わりメニューで多少豊富には見えますが遅くなると何も買えなくなってしまうたりメニューのサイクルが段々と固定化されてきたりしているように思えます。またその日の中で人気な物はすぐに売り切れてしまうので食べたいものが食べられない時があります。そこであらかじめ豊富なメニューを固定化しておき注文されるメニューが分散されることで多くの人が好きな物を好きな時に食べやすくすることが出来ます。

これらが私の考える学外の人に羨ましいと思われるカフェテリアの在り方です。少しありきたりな案にはなってしまったものの実現性的には十分可能だと思います。